

みんなで育て、楽しみ、交流の場となる玉浦西地区の緑 ～公園ワークショップを行いました～

2013年11月2日、岩沼市民会館において、集団移転先の玉浦西地区に、「緑をどのように創り出し、どのように管理し、どう楽しむか？」をテーマにしたワークショップが行われました。当日は、地域の高校生を含む、さまざまな世代の参加者が集まりました。

ワークショップの前半では、公園の芝生化について、全国の先進的な事例が紹介されました。ワークショップの後半では、グループごとに分かれて、話し合いと提案を行いました。A班とB班では西公園、C班とD班では中公園を対象としました。

各グループでは、石川研スタッフや学生が進行を行い、どのような公園にしたいかや、公園での管理の方法、公園で行いたい活動などについて意見を交換しました。その結果、「一年中楽しめる公園にしたい」「世代を超えたコミュニケーションの場にしたい」「裸足で遊べる芝生の公園にしたい」「芝は班ごとに交代で管理する」「芋煮やバーベキューをしたい」「思い出のあるこのぼりをかざりたい」といったさまざまな意見が活発に飛び出しました。

最後にグループごとの提案を発表しあい、将来の玉浦西地区の公園のイメージを共有しました。世代を超えて楽しく意見を出し合うことができ、実りあるワークショップとなりました。



写真：グループで話し合いをしています



写真：提案を図面に描きこんでいます



写真：グループごとに提案内容の発表をしました



写真：参加者のみなさんの提案を、
学生が模型にしました
(上：中公園 下：西公園)